

広報さづか

第2号

発行：平成27年3月

編集：佐東地区センター 文化・広報部

案内図



小貫(井崎)交差点を西進
約500mの所を右折



おらが村の文化財 第1弾

浮島堂の由来 (掛川市小貫)

掛川市小貫504の2番地に浮島観音堂（通称・浮島堂）と呼ばれる御堂があります。今から300年程前のある頃に長雨が降り続き、小貫一帯は大洪水になり泥の海になりました。仲田の一角にあった松の梢が、海に浮かぶ島の様に見えたことから、その松を「浮島の松」と呼ぶようになったと言われます。

洪水が引いた時、松の枝に木彫りの観音様が引っ掛けていました。小貫の人々は、浮島の松の根本に小さな祠を建てて、この観音様をお祀りしていましたが、年月が経つにつれてそれは忘れ去られ草間に埋もれてしまいました。

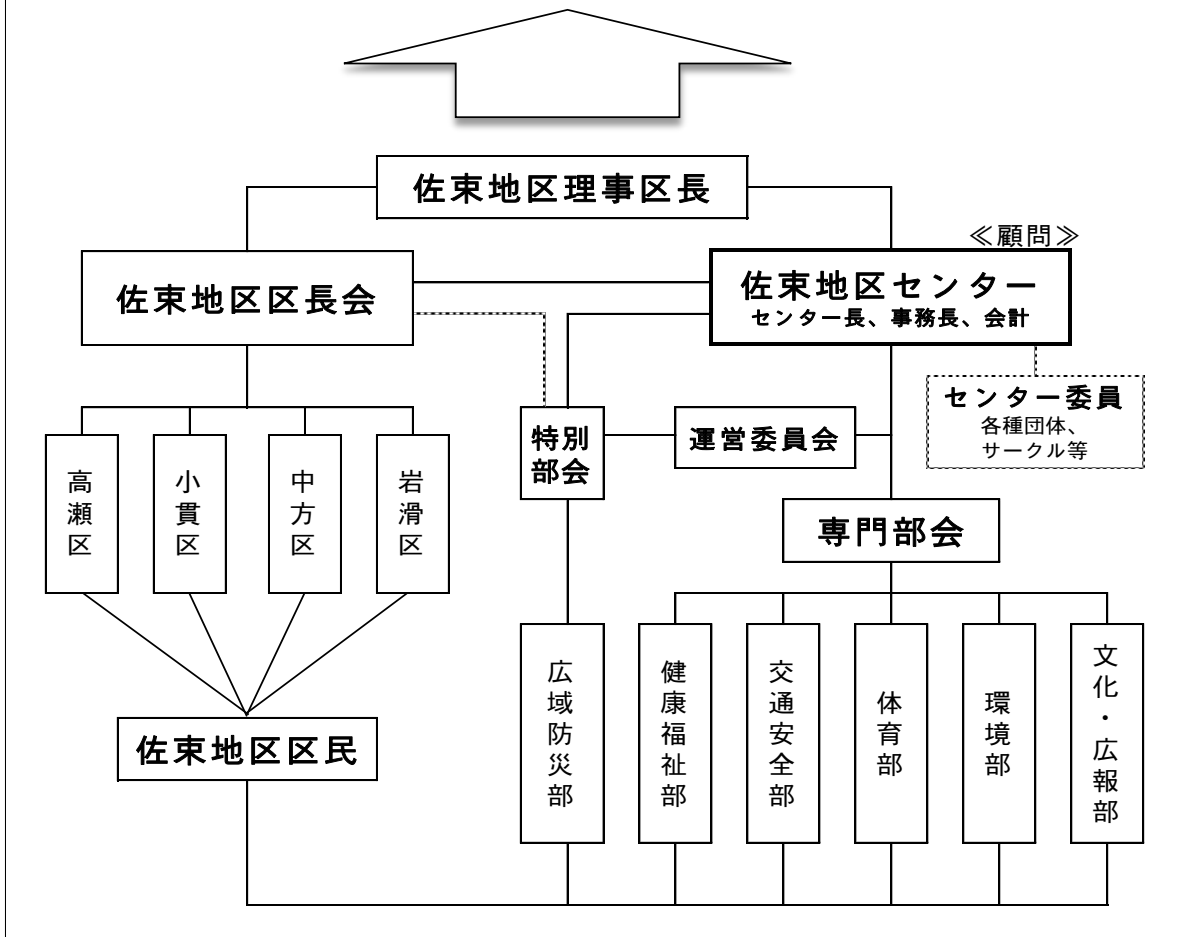
寛延3年（1751年）に、突然に松の上高く煌々とした光明が現れ、7日間の昼夜にわたり光り輝いていました。この年の6月17日の夜、近所の住民5人が揃って同じ夢を見たと言うのです。「夢枕に人が現れ、御堂を建て永久に観音様を祀るように」とのお告げがあったと言うのです。5人が中心になって御堂の造営を計画し、多くの人々の寄進を受け僅か一ヶ月後の7月17日に完成し観音様一体をお祀りし、村人総出で開眼法要を行いました。その後、文政元年（1823年）に再建され現在に至っています。

◎この浮島堂は子供達の格好の遊び場で、誰もが遊び育った所です。観音様のご加護か、誰一人ここで怪我をした人がいません。

(小貫在住 佐藤 俊博 書)

佐東地区センター組織図

佐東地域づくりの推進



『佐東地区協働のまちづくり』に向かって

佐東地区理事区長 後藤 君平

佐東地区区民の皆様方には、日頃より佐東地区センター各事業運営にご協力を頂き、心より厚くお礼申し上げます。

さて、近年地方自治体の財政状況も大変厳しくなっており、人口の減少と少子高齢化の時代に入り、行政は地域でできる事は地域にたよるとの方針（地方主導の政策）を打ち出してまいりました。掛川市では平成25年4月1日『掛川市自治基本条例』が施行され、これに基づき地域の総意を反映する為の『地域まちづくり協議会』を発足する事となりました。

これからは、地域の将来の姿は地域が中心となり、自ら決めてゆく事となります。こうする事により更に満足度の高いまちづくりが実現できる事となります。平成28年度より掛川市管内全ての地区において、『協働のまちづくり協議会』がスタートしてまいります。

佐東地区においては、『佐東地区協働のまちづくり協議会』として事業が開始されます。『住んでみたくなる町』・『希望のみえる町』をさらに強化する為にも、皆様方の心温かいご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。



健康福祉部

部長 石川 久雄

健康福祉部では、9月14日に「佐東地区敬老会」を佐東小学校体育館にて開催しました。好天に恵まれて、会場には107名の方が出席してくださいました。

地区内4グループの踊り・民謡・ダンス等の余興の発表があり、館内は盛り上がり楽しいひと時を過ごされたかと思います。これからも健康に気を付けて、楽しく元気に過ごされる事を願っています。

又、健康福祉部では、区内4地区で「ふれあい交流会」を開催しています。



9月 佐東地区敬老会

交通安全部

部長 森竹 真義

交通安全部では、春・夏・秋と年末の4回全国交通安全運動の期間中、井崎交差点で交通安全の街頭指導を実施。センターまつりと敬老会では交通整理を担当。

又、1月に交通安全講習会を実施しました。今年度は掛川市交通安全協会による「交通安全講話」です。

今後とも交通災害には、十分お気を付け下さい。



1月 交通安全講習会

体 育 部

部長 中井 真陸

体育部では、地区の皆さんの健康の増進と親睦を図れる様、いくつかのイベントへの参加や、地元の皆さんの参加出来るイベントの企画、運営の活動をしています。皆さんの参加をお待ちしております！

主な活動

- 8月 掛川市南地区対抗女子バレーボール大会
1チームエントリー
- 9月 掛川市スポーツ交流フェスティバル
玉入れ競技にエントリー 予選通過 決勝リーグ3位
- 10月 掛川市南地区対抗バレーボール大会（男女混合）
2チームエントリー
- 11月 親睦グラウンドゴルフ大会
89名参加
- 3月 佐束くるりんウォーク



9月 スポーツフェスタ



11月
親睦グラウンドゴルフ大会

環 境 部

部長 梅田 清弘

環境部では、企業視察研修を7月24日に行いました。今年度は次の3ヶ所を視察しました。

- ① (株)NECプラットホームズ (掛川市) ネットワーク商品の製造工程、環境保全への取り組み状況を視察見学
- ② 東山地区の茶草場、事任八幡宮 (掛川市) 世界農業遺産の茶草場を視察見学、市の名木（大スギ・クスノキ）を見学
- ③ 環境資源ギャラリー (掛川市) ゴミの再資源化工程を視察見学



NECプラットホームズ

7月 企業視察研修



環境資源ギャラリー

文化・広報部

部長 原川 昭夫

文化・広報部では、第7回「佐東地区センターまつり」を8月17日に佐東小学校にて開催しました。

多くの区民が、作品展示・芸能発表に参加されました。又、小学生による演舞も見られ、子供会の結束も一段と感じられました。

3月に「広報さづか」第2号を発行しました。



8月 第7回センターまつり

広域防災部 部長(セツ-長) 後藤 進

佐東「広域防災部」は、平成25年4月に設立をされ今年2年目に入りましたが、小区の避難所での対応が不可能になった時に開設をするため、いざという時に慌てることのない様、そして短期に訓練が身になる様、年間2回の訓練を実施しています。

※広域防災部の運営組織

- ・本部長：1名
- ・総務班：5名(総)
- ・被災者管理班：5名
- ・情報班：4名
- ・施設管理班：4名
- ・食糧物資班：4名
- ・保健班：4名
- ・衛生班：4名

※平成26年度の訓練内容

- ・平成26年8月31日(日)
大規模な地震が突然発生し、市内全域で停電、断水等が発生した事を想定し、小学校北側の「飲料水兼用防火水槽」からの給水訓練を、防災部員で実施。
- ・平成26年12月7日(日)
佐東小広域避難所運営マニュアルに添って、防災部員による机上訓練と同時に現マニュアルの見直しを検討し、保健班と衛生班は、初めて非常食を使用しての「炊出し訓練」を実施。そして、佐東地区各小区からは12名の参加により、「飲料水兼用防火水槽」からの給水訓練を実施しました。



12月 防災訓練

地域社会への貢献

平成26年度 大東第五分団

【役員】

分団長 石川 太一
副分団長 水野 真吾
ポンプ班長 後藤 公昭
可搬班長 鈴木 達登
警戒班長 溝口 隆也

《ラッパ隊》 藤田 淳也

【団員】

匂坂 敬弘	清水 敏直	原川 太佑
鈴木 大輔	清水 朋暁	後藤 孝則
栗田 和之	鈴木 晃太郎	鈴木 治大
早川 郷史	高塚 朋寛	栗田 達也
青野 雅之	奥田 大輔	鈴木 宏彰
鈴木 敏久	鈴木 邦彦	鈴木 俊正



【分団長 一言】 分団長 石川 太一

平成26年度、大きな火災・災害などなく無事一年を終えた事、そして一人の退団者も出なかった事を、分団長としてとてもうれしく思っています。

大変な事もありましたが、皆に支えられこの一年間何とかやってきました。支えてくれた消防団員の皆、そして地域の皆様には、本当に感謝しています。ありがとうございました。

これからも、消防団にご協力のほどよろしくお願いします。



【副分団長 一言】 副分団長 水野 真吾

一年間、副分団長として分団長をサポートし、また、その他の団員の指導をしてきました。

今年度も、早朝訓練や消防署との合同訓練、夜間警戒など多くの消防行事がありましたが、団員の協力があり、無事一年を終えることができました。

団員、地域の方々、消防団OBなど支えていただいた皆様に感謝したいと思います。

一年間ありがとうございました。

【編集後記】

今年度、「広報さづか」も第2号となりました。
新しい試みとして、佐東地区内の小さな文化財を載せたい
と思い、表紙を飾りました。
原稿のご協力ありがとうございました。

編集委員（文化・広報部）

原川 昭夫	大村 保
鈴木 せつ子	八木 一夫
大庭 良彦	松下 幸市
加藤 千枝乃	鈴木 隆之